



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成 20年 7月 30日

上場会社名 テルモ株式会社

上場取引所 東証第一部

コード番号 4543

URL <http://www.terumo.co.jp/>

代表者 代表取締役社長 高橋 晃

問合せ先責任者 広報室長 羽田野 彰士 TEL (03) 3217 - 6550

四半期報告書提出予定日 平成 20年 8月 13日

1. 平成 21年 3月期第1四半期の連結業績（平成 20年 4月 1日～平成 20年 6月 30日）（百万円未満切り捨て）
 (1) 連結経営成績（累計）（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21年3月期第1四半期	77,771 -	16,241 -	18,852 -	14,016 -
20年3月期第1四半期	75,469 17.3	16,986 26.2	18,595 38.2	13,142 63.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整 後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	72.27	-
20年3月期第1四半期	66.11	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	400,373	301,670	75.3	1,555.06
20年3月期	410,918	288,867	70.3	1,489.10

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 301,570百万円 20年3月期 288,780百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	-	14.00	-	18.00	32.00
21年3月期(予想)	-	16.00	-	16.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成 21年 3月期の連結業績予想（平成 20年 4月 1日～平成 21年 3月 31日）

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第2四半期連結累計期間	155,000 -	34,000 -	34,000 -	22,500 -	116.02
通期	318,000 3.8	68,000 1.6	68,000 5.9	45,000 3.7	232.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
 [（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 （四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 [（注）詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	21年3月期第1四半期	210,876,260 株	20年3月期	210,876,260 株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	16,948,214 株	20年3月期	16,946,729 株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	21年3月期第1四半期	193,928,776 株	20年3月期第1四半期	198,787,554 株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は3ページから5ページ【定性的情報・財務諸表等】をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【 定性的情報・財務諸表等 】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

国内では、医療保険財政の悪化を背景として、医療制度改革に向けた取り組みが引き続き推し進められています。2008 年 4 月には、診療報酬改定が行われ、薬価および特定保険医療材料の公定償還価格が大幅に引き下げられたほか、DPC と呼ばれる急性期入院医療費の包括支払い方式を導入する病院がさらに拡大しました。また、いわゆるサブプライムローン問題を契機に、世界各地の景況感に大きな影響が出始めており、資源価格の高騰や急激な円高の進行など、一層厳しい経営環境が続くと考えられます。

このような状況のもと、当社グループは、2008 年 4 月から始まる 3 ヶ年の中期経営計画「Phoenix 2010 ～非連続への挑戦～」をスタートさせました。「世界に存在感のある企業」を目指して、3 年後の 2011 年 3 月期に売上高 4,000 億円、営業利益 850 億円の達成に向けて様々な取り組みを行ってまいります。その第一歩である当第 1 四半期では、原材料価格の高騰などのコストアップ要因がありましたが、通期の見通しである売上高 3,180 億円、営業利益 680 億円に対して、ほぼ計画どおりのスタートを切ることができました。

<売上高>

国内では、PTCA バルーンカテーテルや血糖測定器、血液製剤システム等が順調に売上を伸ばし、売上高は 399 億円、前年同期比で 2.1% の増加となりました。海外では、カテーテルシステム全般が好調に推移し、売上高は 379 億円、前年同期比 4.1% の増加となりました。

この結果、連結売上高は 778 億円、前年同期比 3.1% の増加となりました。

<営業利益>

営業利益は 162 億円と、前年同期比 4.4% の減少となりました。また、営業利益率は 20.9% となりました。

<経常利益>

経常利益は 189 億円と、前年同期比 1.4% の増加となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は 140 億円と、前年同期比 6.6% の増加となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ 105 億円減少して 4,004 億円となりました。

流動資産は 224 億円減少して 1,957 億円となりました。借入金の返済や法人税、賞与の支払により現金及び預金が 267 億円減少したことが主な要因です。

固定資産は 118 億円増加して 2,047 億円となりました。有形固定資産が 9 億円、無形固定資産が 8 億円、投資その他の資産が 102 億円それぞれ増加しております。なお、投資その他の資産の増加は、時価評価による投資有価証券の評価増 21 億円などが主な要因です。

負債の部は前連結会計年度末に比べ 233 億円減少し 987 億円となりました。流動負債は 236 億円減少して 909 億円となりました。借入金を 150 億円返済したことや法人税の納付を行ったことが主な減少要因です。

固定負債は 3 億円増加して 78 億円となりました。

当第 1 四半期連結会計期間末の純資産の部は 128 億円増加して 3,017 億円となりました。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ 5.0 ポイント増加し、75.3%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原材料価格の高騰をはじめ、改正薬事法に伴う規制強化、為替の動向など厳しい状況が続くことが予想されます。当社グループは、原材料の現地調達促進や徹底した販管費の見直しなどを行い、さらなる収益力の強化を図ってまいります。

第 2 四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想（平成 20 年 4 月 30 日発表）の変更はしておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1) 棚卸資産の評価方法

当第 1 四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1) 税金費用については、一部の海外子会社について、当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用
通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。
- ③ 当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が224百万円、期首剰余金が707百万円それぞれ減少しております。
- ④ セグメントの区分について、従来はホスピタル商品群、心臓・血管領域商品群、生活医療商品群他の3つのカテゴリーとしておりましたが、当連結会計年度より、ホスピタル商品群、心臓・血管領域商品群、輸血関連商品群、ヘルスケア商品群の4つのカテゴリーへ変更いたしました。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

区分	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)		前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
I 流動資産	195,711	48.9	218,072	53.1
現金及び預金	60,649		87,343	
受取手形及び売掛金	70,893		69,048	
商品	4,499		3,821	
製品	27,740		25,825	
原材料	12,332		10,506	
仕掛品	6,176		5,735	
貯蔵品	2,474		2,849	
繰延税金資産	6,306		8,998	
その他	5,466		4,744	
貸倒引当金	△828		△801	
II 固定資産	204,661	51.1	192,846	46.9
1. 有形固定資産	113,599	28.4	112,744	27.4
建物及び構築物	44,140		44,121	
機械装置及び運搬具	35,212		35,602	
土地	20,440		20,404	
建設仮勘定	7,037		6,412	
その他	6,768		6,202	
2. 無形固定資産	35,908	8.9	35,125	8.6
のれん	30,811		30,202	
その他	5,097		4,922	
3. 投資その他の資産	55,152	13.8	44,976	10.9
投資有価証券	42,635		40,527	
繰延税金資産	5,351		1,878	
その他	7,165		2,570	
資産合計	400,373	100.0	410,918	100.0

(単位：百万円)

区分	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)		前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)		%		%
I 流動負債	90,857	22.7	114,457	27.9
支払手形及び買掛金	28,037		27,245	
短期借入金	20,280		35,000	
未払法人税等	7,490		17,802	
賞与引当金	2,458		4,782	
役員賞与引当金	47		189	
繰延税金負債	197		197	
設備関係支払手形及び未払金	5,320		5,646	
その他	27,024		23,593	
II 固定負債	7,845	2.0	7,593	1.8
繰延税金負債	43		36	
退職給付引当金	4,078		4,263	
役員退職慰労引当金	728		728	
その他	2,995		2,565	
負債合計	98,702	24.7	122,051	29.7
(純資産の部)				
I 株主資本	301,435	75.3	291,624	71.0
資本金	38,716		38,716	
資本剰余金	59,030		59,030	
利益剰余金	262,486		252,667	
自己株式	△58,798		△58,790	
II 評価・換算差額等	135	0.0	△2,843	△0.7
その他有価証券評価差額金	6,653		5,026	
為替換算調整勘定	△6,518		△7,869	
III 少数株主持分	100	0.0	87	0.0
純資産合計	301,670	75.3	288,867	70.3
負債純資産合計	400,373	100.0	410,918	100.0

(2) 四半期連結損益計算書
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

区分	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)		
	金額		百分比
			%
I 売上高	77,771		100.0
II 売上原価	35,516		45.7
売上総利益	42,255		54.3
III 販売費及び一般管理費	26,013		33.4
営業利益	16,241		20.9
IV 営業外収益			
受取利息	399		
受取配当金	178		
受取ロイヤルティー	30		
為替差益	2,206		
持分法による投資利益	19		
その他	224	3,060	3.9
V 営業外費用			
支払利息	97		
売上割引	141		
たな卸資産処分損	18		
その他	192	449	0.6
経常利益		18,852	24.2
VI 特別利益			
固定資産売却益	0		
投資有価証券売却益	80	81	0.1
VII 特別損失			
固定資産処分損	5	5	0.0
税金等調整前四半期純利益		18,927	24.3
法人税、住民税及び事業税	5,208		
法人税等調整額 (△：減算)	△302	4,906	6.3
少数株主利益 (△：損失)		5	0.0
四半期純利益		14,016	18.0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
区分	金額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	18,927
減価償却費	4,129
のれん償却額	512
持分法による投資利益	△19
退職給付引当金の増減額(減少：△)	△189
貸倒引当金の増減額(減少：△)	26
役員賞与引当金の増減額(減少：△)	△142
受取利息及び受取配当金	△578
支払利息	97
為替差損益(差益：△)	△230
固定資産処分損	5
固定資産売却益	△0
投資有価証券売却益	△80
売上債権の増減額(増加：△)	177
たな卸資産の増減額(増加：△)	△2,774
仕入債務の増減額(減少：△)	△115
その他	△6,720
小計	13,024
利息及び配当金の受取額	714
利息の支払額	△151
法人税等の支払額	△16,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,689
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,490
定期預金の払戻による収入	512
有形固定資産の取得による支出	△3,560
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△305
投資有価証券の取得による支出	0
投資有価証券の売却による収入	580
新規連結会社の取得に伴う支出	△3,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,548
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額(減少：△)	△15,000
自己株式の取得による支出	△7
配当金の支払額	△3,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,498
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,064
V. 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△27,671
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	85,377
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	57,706

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号 平成 19 年 3 月 14 日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号 平成 19 年 3 月 14 日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第 1 四半期連結累計期間(自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	ホスピタル 商品群	心臓・血管 領域商品群	輸血関連 商品群	ヘルスケア 商品群	計	消 去 又は全社	連結
I. 売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	37,200	33,108	6,232	1,230	77,771	—	77,771
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	37,200	33,108	6,232	1,230	77,771	—	77,771
営業利益	8,275	9,801	1,067	42	19,186	(2,945)	16,241

(注) 1. 事業区分は、事業経営を軸とした戦略立案とマネジメントによるカンパニー制に沿い、「ホスピタル商品群」「心臓・血管領域商品群」「輸血関連商品群」及び「ヘルスケア商品群」の 4 事業に区分しております。

(注) 2. 各事業区分の主な製品

事業区分	売上区分	主要製品
ホスピタル 商品群	ホスピタル医療器	シリンジ(注射筒)、注射針、輸液セット、静脈留置針、真空採血管、輸液ポンプ、シリンジポンプ 他
	医薬品類	輸液剤、高カロリー輸液剤、プレフィルドシリンジ、栄養食品 他
	腹膜透析関連	腹膜透析システム
	糖尿病関連	血糖測定システム(病院市場)
	在宅医療関連	在宅輸液システム、酸素濃縮器 他
心臓・血管 領域商品群	カテーテルシステム	血管造影用カテーテル、PTCAバルーンカテーテル、コロナリースtent、脳動脈瘤治療用コイル 他
	人工心肺システム	人工肺、体外循環システム 他
	人工血管	人工血管
輸血関連商品群	輸血関連	血液バッグ、血液製剤システム 他
ヘルスケア商品群	ヘルスケア商品	家庭用電子体温計、家庭用電子血圧計、血糖測定システム(OTC市場) 他

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位：百万円)

	日本	欧州	米州	アジア他	計	消去 又は全社	連結
I. 売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	39,924	15,987	13,943	7,916	77,771	—	77,771
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	11,728	793	1,620	3,422	17,564	(17,564)	—
計	51,653	16,780	15,563	11,338	95,336	(17,564)	77,771
営業利益	14,015	2,440	837	1,916	19,210	(2,969)	16,241

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域・・・欧州：ベルギー、イギリス、ドイツ等
米州：アメリカ、カナダ、メキシコ等
アジア他：UAE、オーストラリア、タイ等

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位：百万円)

	欧州	米州	アジア他	計
I. 海外売上高	15,987	13,943	7,928	37,858
II. 連結売上高				77,771
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	20.6%	17.9%	10.2%	48.7%

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域・・・欧州：ドイツ、フランス、イタリア等
米州：アメリカ、カナダ、メキシコ等
アジア他：オーストラリア、タイ、台湾等

(注) 2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	前年同第 1 四半期 (平成20年 3 月期 第 1 四半期)	
	金額	百分比
		%
売上高	75,469	100.0
売上原価	33,964	45.0
売上総利益	41,504	55.0
販売費及び一般管理費	24,518	32.5
営業利益	16,986	22.5
営業外損益	1,609	
経常利益	18,595	24.6
特別損益	1,040	
税金等調整前四半期純利益	19,636	26.0
法人税等	6,480	
少数株主利益	12	
四半期純利益	13,142	17.4

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	前年同第 1 四半期 (平成20年 3 月期 第 1 四半期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,990
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,107
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	637
現金及び現金同等物の増減額	1,331
現金及び現金同等物の期首残高	43,049
現金及び現金同等物の期末残高	44,380

(3) セグメント情報

【事業区分別販売実績】

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	前年同第 1 四半期 (平成20年 3 月期 第 1 四半期)	
	金額	構成比
ホスピタル医療器	20,691	27.4%
医薬品類	10,175	13.5%
輸血関連	5,850	7.8%
ホスピタル商品群計	36,716	48.7%
カテーテルシステム	19,108	25.3%
人工心肺システム	9,601	12.7%
人工血管	2,514	3.3%
心臓・血管領域商品群計	31,224	41.3%
腹膜透析関連	1,769	2.3%
糖尿病関連	3,454	4.6%
その他	2,304	3.1%
生活医療商品群他計	7,528	10.0%
合計	75,469	100.0%

(注) 1. 各事業区分の主な製品

事業区分	売上区分	主要製品
ホスピタル 商品群	ホスピタル医療器	シリンジ(注射筒)、注射針、輸液セット、翼状針、留置針、 真空採血管、輸液ポンプ、シリンジポンプ 他
	医薬品類	輸液剤、高カロリー輸液剤、プレフィルドシリンジ、栄養食品 他
	輸血関連	血液バッグ、成分採血装置、無菌接合装置 他
心臓・血管 領域商品群	カテーテルシステム	P T C Aカテーテル、コロナリーステント、 ガイドワイヤー、血管造影カテーテル、脳動脈瘤治療用コイル 他
	人工心肺システム	人工肺、体外循環システム 他
	人工血管	人工血管
生活医療 商品群他	腹膜透析関連	腹膜透析液 他
	糖尿病関連	血糖測定システム 他
	その他	在宅輸液システム、酸素濃縮器、家庭用電子体温計、 家庭用電子血圧計 他

【地域別販売実績】

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	前年同第 1 四半期 (平成20年 3 月期 第 1 四半期)	
	金額	構成比
日本	39,108	51.8%
海外	36,361	48.2%
(欧州)	14,271	18.9%
(米州)	14,508	19.2%
(アジア他)	7,582	10.1%
合計	75,469	100.0%